

令和5年度 六合中学校区地域包括支援センター事業実施評価票

実施方針	目標	具体的な取り組み	実績	評価			
				取組毎の評価	方針毎の評価		
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	地区社協・民生委員・岸町応援隊・道悦島応援隊と連携を強化し課題のある高齢者を早期に把握する。	①民生委員児童委員協議会に出席（月1回） ②応援隊連絡会に出席（道悦島、岸町） ③介護保険制度の説明をする（応援隊連絡会）	①毎月出席した。 ②毎月連絡会に出席し連携を図った。 ③未実施	○		
		住民主体で高齢者の生活を支えるために地域資源の体制を整える。	市社協、地区社協、応援隊、民生委員、介護支援専門員など関係機関の連携を強化し応援隊の継続について検討を行う。	①生活支援をつなぐ会（年2回） ②市内応援隊の研修会に参加 ③移動支援者の把握をする	①東町で4月に1回実施 ②未実施 ③応援隊連絡会で把握した。	○	○
		在宅生活が続けられるようにセルフケア能力を高め、維持できるようにしていく。	①しまトレ（13か所）居場所、ふれあい（岸町、高島町、道悦、東町、阿知ヶ谷、東光寺）に参加	①しまトレ、居場所、ふれあいに参加した。	◎		
	住民の方の生き方やその人らしい生活を考える機会が持てるように支援する。	人生会議の言葉を知り最期について考える機会を持つ。	①ACPIについてチラシを配布・もしバナゲームの開催	①未実施	△	△	
認知症施策の推進	地域住民が主体的に介護予防に取り組めるよう若い世代も参加しやすいような地域づくりを目指す。	認知症の理解を深めるために多世代に認知症サポーターを養成する。	①認知症サポーター養成講座の開催（六合小、六合東小、六合中、企業） ②チームオレンジ連絡会（2回）	①六合小、六合東小は学校の都合により開催困難の為、未実施。 ②未実施	△	○	
		認知症を正しく理解し、家族や地域の方が社会参加できる機会を持つ。	①認知症カフェ開催（岸町、東町、道悦ウエルシア） ②薬局と連携し相談窓口を設置（年2回） ③GHの運営推進会議に参加（18回）	①東町、道悦ウエルシアは実施。 ②11月にまちなか保健室を立ち上げ相談窓口を設置した。 ③参加し連携を深めた。	○		
選択項目	多職種、多機関とのネットワーク構築	複合的な課題を持つ世帯などに他機関と連携し情報の共有化を図る。	①個別地域ケア会議の開催（随時）参加者：行政（障害、福祉課）、社協、民生委員、介護支援専門員 ②生活困窮世帯の支援体制の構築（小地域ケア会議）	①個別地域ケア会議を2回開催。 ②未実施	○	○	
		医療と連携を深め、在宅医療の情報交換を図る。	①ケアカフェの開催（年2回）参加者：薬剤師、訪問看護、介護支援専門員、介護事業所	①6月に六合地区の介護保険施設と実施した。	○		
	センターの認知度を高めるための周知活動	相談しやすい場所、相談窓口として地域活動に積極的に参加する。	センターから離れた場所で気軽に相談できるネットワーク作りを行う。 ①各地区にて包括PRと相談窓口を設置（開業医、公民館、公会堂、薬局、介護事業所） ②居場所ふれあい時に参加者の声かけを行う。	①開業医、公民館、公会堂、薬局、介護事業所に包括PRを実施した。 ②居場所ふれあい時に参加者を募る案内を行った。	◎	◎	
介護支援専門員に対する連絡体制づくりと実践力向上支援	安定した生活を支える為に適切なケアマネジメントができるように支援する。	経済的な課題や医療が必要なケースに対して、介護支援専門員と各関係機関の連携がスムーズに行えるようにする。	①介護支援専門員連絡会の開催（成年後見制度活用に関する事例検討会、薬剤師による勉強会） ②困難ケースに対して介護支援専門員と協働し支援する。	①介護支援専門員連絡会を8月に開催した。 ②困難ケースに対して介護支援専門員と協働し支援している。	○	○	

課題・今後の方向性

1月に応援隊サポーターと介護支援専門員が交流を図り、双方のサービスの把握、理解を深め、適正な利用に繋がられるように連絡会を実施する。

生活支援をつなぐ会は12月に実施。継続して連絡会に参加し応援隊と連携し移動支援者の把握に努めていく。

継続して地域に積極的に出向き、地域の方に対して介護予防の意識を高めていく。

地域の方に対してACPIについて理解を深めて頂く為にチラシ作成等の準備を進め普及活動を実施し次年度に行う。

認知症サポーター養成講座は1月断酒会、3月六合中を実施する。チームオレンジ連絡会は年度内に開催する。

定期的に行い家族や地域の方が参加できる機会をつくっていく。

生活困窮、8050問題等のケースに対して個別ケア会議を通じて地域の課題抽出を行う。

2月に六合地区の介護事業所に対して開催し、医療との連携を深めていく。

11月にまちなか保健室を開催し健康相談や介護相談に対して相談できる窓口を設置する。

地域の方に対して幅広くセンターの活動内容を知って頂き、相談できる体制づくりを行っていく。

介護支援専門員連絡会は3月に薬剤師による勉強会を実施する。介護支援専門員と顔の見える関係を作り、資質向上を目指していく。